

公文書館に行きました！

～初めての学習会を開催しました！～

2025年8月31日(日)

滋賀県

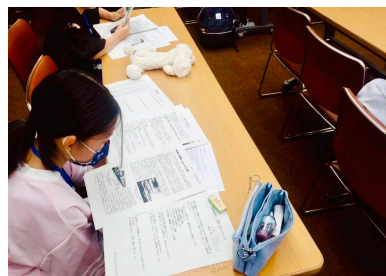
子ども県議会

事務局発行 / No.2



7月27日の任命式を終え、子ども県議会の新しいメンバーたちが、いよいよ最初の活動日を迎えました。午前中は、**滋賀県公文書館**を訪れ、小谷審議員さんと担当の大月さんから滋賀県の歴史や県史編さん事業についてお話を伺いました。

滋賀県の県史編さんの歴史を聞く



実際の資料や映像を見ながら、公文書がどのように保存され、未来へと受け継がれていくのかを学んだ子どもたちは、「**滋賀の歴史をもっと知りたい**」と目を輝かせていました。公文書館で滋賀県の歴史を学び、「**自分の住む県のことをもっと知りたい**」「**歴史を残すことの大切さを感じた**」との声が多くありました。実際に県史編さんの

話を聞くことで、滋賀が歩んできた歴史や文化への関心が高まり、「初めて知ることが多くておもしろかった」「大切な記録を未来に伝える仕事に感動した」といった感想も聞かれました。



お昼からはチームビルディングに挑戦!



午後のレクリエーションでは、初めて会う人とも自然に打ち解け、「いろいろな人と話せてうれしかった」「思っていたより意見交換が楽しかった」といった声が多く寄せられました。「グループの人の名前を覚えてうれしかった」「次も協力して活動したい」「笑いながら話せて、みんな優しかった」など、チームでの温かい関係づくりが印象的でした。

みんなでエントリー時のテーマでも話をしました!

最後のグループワークでは、まちづくり・環境・農業・平和・学校や子どもなことなど、関心のあるテーマに分かれて話し合いました。

「平和について意見を交換できてよかった」「農業でもいろんな考え方があることに気づいた」「学校のことをもっと良くしたいと思った」など、それぞれの分野で自分の思いやアイデアを言葉にする時間となりました。



子どもたちの次に向けての意気込み

「次の活動では、もっといろいろな人の意見を聞いて自分の主張を磨きたい」
「地域体験活動がとても楽しみ」「その日の目的と自分の目標を立てて取り組みたい」といった前向きな声も多く、これからの活動への意欲が伝わってきました。全体を通して、子どもたちは「学ぶ・話す・つながる」ことの楽しさを実感し、自分たちの言葉で滋賀の未来を考える一歩を踏み出しました。